

危機管理會議 2018

実施報告書

2018 年 10 月 18-19 日 新北

目次

概要	2
本会議	3
危機管理関連施設視察・新北市文化視察	8
別添資料1 参加者リスト	11
別添資料2 プログラム	14
別添資料3 開会挨拶及び祝辞	16
別添資料4 事務局報告	18
別添資料5 局長による総括及び閉会挨拶	19

概要

危機管理会議 2018 は、新北において 2018 年 10 月 18 日から 19 日にかけて開催された。新北市消防局 (The New Taipei City Government。以下、「NTPC」という。) が、「防災能力の総合的向上」というテーマのもと会議を主催した。会議における 3 つのサブテーマは、以下のとおりである。

- a. 危機管理に向け情報を最大限活用するためのビッグデータと分析の活用
- b. 行政による減災のための戦略・政策・取組
- c. 災害リスク管理の改善：災害リスク軽減のための官民連携の重要な役割

10 都市から 25 名の参加者が会議に出席した。危機管理ネットワーク参加都市からは 9 都市（ジャカルタ・クアラルンプール・マニラ・ソウル・シンガポール・台北・東京・ウランバートル・新北）が参加し、オブザーバーとして 1 都市（ブリュッセル）が参加した。さらに、米国及び英国の関係 3 機関から 4 名が参加した他、防災部門、学術部門専門家、学者、新北市の様々な地区の職員、危機管理部門の関係職員を含む 400 人が本会議に参加した。参加者リストは別添資料 1 を参照のこと。

2 日間にわたる会議の構成は、以下のとおり。詳細なプログラムは別添資料 2 を参照のこと。

10 月 18 日 本会議

10 月 19 日 危機管理関連施設の視察・新北市文化視察



開会セレモニー及びプレゼンテーション概要（10月18日 木曜日 本会議）

NTPCエリック・リルアン・チュ市長による開会挨拶

台湾内政部台湾消防部チェン・ウィンロン署長による祝辞

- 1 NTPCエリック・リルアン・チュ市長は、危機管理ネットワーク参加都市、オブザーバー、米国災害対策部門を含む世界各都市からの参加者、並びに台湾消防局を歓迎した。市長は、台湾は大規模な災害を数多く経験しており、台湾の全都市が互いに協力している。仮に世界で災害が発生した折には率先して協力し、ともに支援すると述べた。また、今回の会議を通して様々な国際都市と交流し経験を共有する機会を持てたことは喜ばしく、今後、都市間のつながりや相互派遣がさらに緊密になることを期待する旨述べた。

台湾内政部台湾消防部チェン・ウィンロン署長から、歓迎と祝意を述べた。

リルアン・チュ市長は、参加への謝意を伝えるため、全ての参加都市に感謝メダルを授与した。

リルアン・チュ市長による開会挨拶、チェン・ウィンロン署長による祝辞は、別添資料3を参照。



台湾行政院タン・フェン（オードリー・タン）行政顧問（Mr. Tang Feng (Audrey Tang), Minister without Portfolio of Executive Yuan (R.O.C.）による基調講演

- 2 「公共インフラのIoT・防災情報システムの統合」と題された講演は、IoT情報の防災システムへの統合に関するものであり、空気の質のマイクロモニターの構築に向けた同様の概念が、災害に関する研究にも応用可能であることが紹介された。



サブテーマ「危機管理に向け情報を最大限活用するためのビッグデータと分析の活用」に関する参加都市のプレゼンテーション

（※以下、実際のプレゼンテーションの順番ではなく、サブテーマごとに記載）

- 3 警視庁警備部災害対策課 品田一彦 理事官は、「大規模災害発生時におけるビッグデータ・AI活用に向けた取組」に関するプレゼンテーションを行い、当局からの映像を使って、テロリスト〔対策〕、局所的な人口、災害規模の計測など様々な目的に応じた分析を実施していることを説明した。さらに、AI技術を活用し、災害後、一般のウェブサイト・SNS情報を収集・管理し、デマ情報の排除等を実施していることを説明した。



- 4 ソウル市クロ消防署シン・ミンジュン管理チームマネジャーは、「ソウルの火災安全装置 リアルタイムモニタリングシステム」についてプレゼンテーションを行い、管理センター（119、消防所、消防署）と連携した自動火災警報機器により、火災発生をより迅速に把握でき、死傷者を減らすことができることを示した。



サブテーマ「行政による減災のための戦略・政策・取組」に関する参加都市のプレゼンテーション

5 新北市消防局ホアン・デチン局長は、「**新北市における、実用的・統合的・先進的な防災及び危機管**

理の展望」について説明した。新北市では多くの大規模災害が発生するため、現在、①防災・救助活動の実施 ②異なる部隊間の資源統合 ③スマートシティの創造、という3つの主要な対策が取られている。具体的には、防災の促進、楽しみながら防災について学ぶ仕組みづくり、防災に関する知識啓発、様々な想定に基づく防災訓練、新北市減災対策プログラム2.0の策定・施行、包括的・自律的な防災コミュニティの構築、国際交流・協力、危機対応指揮学校（ERCA）の設立、スマート・クラウド・ダイナミック EMS システム（SCDES）、ALL-HAZARD 災害データプラットフォーム（EDP）の構築などである。



6 ジャカルタ災害管理局トリ・インドラワン防災局長は、プレゼンテーション「**初期対応市民の能力強化**」についてプレゼンし、災害発生時、一般市民が救助を行い、市民の財産の損失を減らせるよう、ジャカルタが、応急救助、CPR、消火活動など初歩的な防災能力の訓練を推進していることを強調した。



7 台北市消防局 ジアイ・ヨウ上級専門官は、「**安全で持続的な都市－台北市の防災に関する経験の共有**」についてプレゼンテーションを行った。防災コミュニティ、企業による防災促進、防災に関する PR、防災土壌の促進、大学等における防災教育の推進、防災公園の水道管を維持するための DIP（ダクタイル鋳鉄管）の使用など詳細な説明を通して災害リスクをいかに減らすかに関して紹介した。



8 マレーシア市民保護局 アワン・アスカンダール・ビン・アンブアン・ヤークブ課長は、行政・民間・NGO・地域の資源を統合することにより、いかに地域の自助・防災能力を構築・向上させるかを述べた。プレゼンのトピックは「**マレーシアの災害リスク軽減におけるコミュニティの備え**」であった。



9 マニラ首都圏開発庁計画総監補佐室マイケル・M・ギソン第三課長は、「**マニラ首都圏のコンティンジェンシープラン**」というタイトルのもと、7.2マグニチュードの地震による地理的災害の事例を紹介しつつ、フィリピン政府が策定したマニラ首都圏 地震災害計画及び減災・想定政策について説明した。



10 ウランバートル危機管理部 チュルテムスレン・ジャンスランジャヴ部長は「**災害救助の指揮**」についてプレゼンテーションを行い、災害復旧の支援に携わるボランティアチーム・個人は、災害復旧指揮官の指揮に従うことが求められる旨を説明した。



- 11 ブリュッセル消防局 (SIAM) プロジェクトマネージャ／エコノミクス専門職員のヴァレリー・バルビエは「消防隊員の職業病」についてプレゼンテーションを行い、消火活動に従事した後の消防隊員の呼吸器官を守るためには様々な災害救助装備に関する規定、消防隊員の生理学の健康診断記録の定期的な調査、装備品の適正な維持管理など、7つの戦略が必要であると説明した。



- 12 東京消防庁人事部 佐々木直人 部長は「東京消防庁における震災対策」についてプレゼンテーションを行った。東京は地震の警報に重きを置いており、「震災消防対策システム」を運用している。このシステムは10のサブシステムにより構成され、地震による被害の減少に資している。地震が発生すると、本システムは、地震に関するデータ、被害予測など、効率的な救助活用に必要な情報を提供する。



- 13 東京都総合防災部防災通信課 宮本康彦課長は「東京都の危機管理体制」について説明した。災害発生時、東京都は様々な手段を用いて情報収集を行い、テレビや報道発表、インターネットなど多様なPRツールを通して迅速に都民に共有する。



事務局報告（東京都）

- 14 危機管理ネットワーク事務局 兼 東京都政策企画局外務部の菅野千栄子 課長代理は、人材育成、危機管理会議を通じた知識の共有、情報交換について強調しつつ、危機管理ネットワークの年間実績を報告した。また、マニラが危機管理会議 2019 の開催都市となる旨を発表した。別添資料4 参照。



次回開催都市挨拶

- 15 マニラ首都圏開発庁マイケル・M・ギソン課長とエドワード・C・ゴンザレス部長は、危機管理ネットワークが情報交換のプラットフォームを提供していることに対する謝意及び、参加都市間の今後のさらなる協力への期待を表明した。また、全ての参加者に対し、マニラにおける来年の危機管理会議 2019 への参加を呼び掛けた。



局長による総括及び閉会挨拶

- 16 台北市消防局ホアン・デチン局長は、マニラが次回会議開催都市となったことへの祝意を述べるとともに、すべての参加者に、出席及び危機管理に関する知識・経験の共有に対する深い謝意を述べた。また、新北市が2019年に大規模な防災訓練を開催する旨案内し、参加を呼び掛けた。最後に、危機管理ネットワークのさらなる拡充を祈念した。議長総括及び閉会挨拶は、別添資料5を参照のこと。



会議の様子





危機管理関連施設視察・新北市文化視察（10月19日 金曜日）

- 17 参加者は、119 緊急救助指揮センター及び危機対応指揮学校（Emergency Response Command Academy：ERCA）の2か所の危機管理関連施設を視察した。

119 緊急救助 指揮センター	119 救助情報と照らし合わせた災害救助インテリジェンスシステムを構築する。	
危機対応 指揮学校 (ERCA)	ERCA の訓練コースは、消防署の隊長から大隊長まで様々なレベルの指揮隊員に合うよう設計されている。	
現場シミュレーション 訓練場	新北市は ADMS（Advanced Disaster Management Simulator：高度災害管理シミュレーター）を訓練装置として採用。 このシミュレーター（模擬訓練装置）は、異なる災害の12パターンの想定が提供可能で、13の訓練席、3つの指揮官席を有し、それにより指揮能力訓練及び防災訓練の効果を大幅に高めることができる。	





18 新北市文化視察

海外からの参加者は新北市消防局職員の案内により、新北市九份の歴史・文化地区の視察を行った。

参加者名簿

■海外からの参加者（危機管理ネットワーク）（敬称略）

No.	氏 名	役 職	所 属	都 市
1	トリ・インドラワン	防災局長	ジャカルタ 災害管理局	ジャカルタ
2	マイケル・オクタビアヌス	職員	ジャカルタ特別市 国際協力局	
3	アワン・アスカンダール・ ビン・アンプアン・ヤーク ブ	課長	マレーシア 市民保護局	クアラルンプール
4	モフド・ブクホリ・ビン・ マット・シディク	課長		
5	マイケル・M・ギソン	計画総監補佐室 第三課長	マニラ首都圏開発庁	マニラ
6	エドワード・C・ゴンザレス	道路管理部長		
7	キム・スンヤン	火災管理部長	ソウル市 消防災害本部	ソウル
8	シン・ミンジュン	管理チームマネジャー	クロ消防署	
9	エリック・ヤップ	長官	シンガポール 民間防衛局	シンガポール
10	デレク・タン	海軍司令官		
11	ジョエル・マイケル・ デ・ソウザ	シニアスタッフ		
12	チン・チェン・ス	副局長	台北市消防局	台北
13	ジアイ・ヨウ	上級専門官		
14	ジェニファー・ワン	防災計画部 災害部長		
15	カオ・ユーチェン	資器材対応部 企画官補佐		
16	佐々木 直人	人事部長	東京消防庁	東京
17	小椋 健司	総務部総務課 国際業務係主任		
18	品田 一彦	警備部災害対策課 理事官	警視庁	
19	村田 尚徳	警備部災害対策課 主査		
20	宮本 康彦	総務局総合防災部 防災通信課長	東京都庁	

別添資料 1

No.	氏名	役職	所属	都市
21	菅野 千栄子	外務部事業課 課長代理（国際事業調整担当）	東京都庁	東京
22	大場 伊都子	外務部事業課 主任		
23	浦 大樹	外務部事業課 主事		
24	チュルテムスレン・ ジャンスランジャヴ	部長	ウランバートル 危機管理部	ウランバートル
25	ヴァレリー・バルビエ	プロジェクトマネジャ エコノミクス専門職員	ブリュッセル 消防局	ブリュッセル

■海外からの参加者（関係機関）

No.	氏名	役職・所属	国
26	リック・ホフマン	コンコルディア大学 危機管理・国土安全保障センター長	米国
27	コーマル・R・アーヤル	マンチェスター サルフォード大学 リサーチフェロー（災害リスク管理）	英国
28	マルコ・ヴァン・ ウィンガーデン	ETC シミュレーション所長	米国
29	エリック・スプラッグ	ETC アジア環太平洋ディレクター	

■現地参加者（新北）※幹部職員のみ

No.	氏名	役職	所属
1	エリック・リルアン・チュ	市長	新北市
2	チェン・ウィンロン	署長	台湾内政部台湾消防部
3	ウー・ウータイ	室長	危機管理室
4	タン・フェン (オードリー・タン)	行政顧問	台湾行政院
5	ホアン・デチン	局長	新北市消防局 (NTCP)
6	チェン・チョンユー	副局長	
7	リー・チンアン	副局長	
8	チェ・グオホン	筆頭秘書	

別添資料 1

No.	氏名	役職	所属
9	カイ・ウーホン	シニア技術専門官	新北市消防局 (NTCP)
10	チェン・シェンハオ	専門官	
11	シャン・シャオフア	専門官	
12	ハン・イホン	シニア技術専門官	
13	リン・デンガン	チーフ	防災・対応部
14	ルオ・イチアン	チーフ	減災部
15	ルオ・カイウン	チーフ	情報通信・統括部
16	シアオ・ボーファン	チーフ	災害救助部
17	ファン・ユーユアン	チーフ	市民連携部
18	カイ・ヒーホン	秘書	災害救助指揮センター
19	ファン・シュイー	チーフ	会計室
20	ウォン・ユーレン	副大隊長	第一災害救助部隊
21	リン・シンミン	副大隊長	第二災害救助部隊
22	リ・シェンジ	副大隊長	第三災害救助部隊
23	カイ・ユーハン	副大隊長	第四災害救助部隊
24	ウー・インクエイ	係長	第五災害救助部隊
25	リン・ヒーピン	副大隊長	第六災害救助部隊
26	ファン・ビンソン	副大隊長	第七災害救助部隊
27	ヤン・イジア	副大隊長	特別捜査救助部隊

その他、約 28 名が出席（事務局職員、聴講者等）

さらに、防災部門、学術部門専門家、学者、新北市の様々な地区の職員、危機管理部門の関係職員を含む 400 人が本会議に参加した

危機管理会議 2018 プログラム

■2018 年 10 月 18 日（木曜日）本会議

■2018年10月10日（木曜日）本会議

時間		プログラム
9:00 - 9:30		参加登録
開会式典	9:30-9:35	参加者紹介
	9:35-9:45	開会挨拶（新北市 エリック・リルアン・チュ市長） 祝辞（台湾内政部台湾消防部 チェン・ウィンロン署長）
	9:45-9:55	記念品授与・開会セレモニー
	9:55-10:00	集合写真
10:00-10:30		休憩
基調講演	10:30-11:10	公共インフラの IoT・防災情報システムの統合 台湾行政院行政顧問 タン・フェン（オードリー・タン）
プレゼンテーション (4)	セッション1	
	11:15-12:15	新北市における、実用的・統合的・先進的な防災及び危機管理の展望 新北市消防局 ホアン・デチン 局長
		大規模災害発生時におけるビッグデータ・AI 活用に向けた取組 警視庁警備部 災害対策課 品田一彦 理事官
		ソウルの火災安全装置 リアルタイムモニタリングシステム ソウル市クロ消防署 シン・ミンジュン 管理チームマネジャー
		初期対応市民の能力強化 ジャカルタ災害管理局 トリ・インドラワン 防災局長
12:15-14:00		昼食
プレゼンテーション (4)	セッション2	
	14:00-15:00	安全で持続的な都市—台北市の防災に関する経験の共有 台北市消防局 ジアイ・ヨウ 上級専門官
		マレーシアの災害リスク軽減におけるコミュニティの備え マレーシア市民保護局アワ・アスカンダール・ビン・アソプ・ヤクブ 課長
		マニラ首都圏のコンティンジェンシープラン マニラ首都圏開発庁計画総監補佐室 マイケル・M・ギソン 第三課長
		災害救助の指揮 ウランバートル危機管理部 チュルテムスレン・ジャンスランジャヴ 部長
15:00-15:30		休憩
プレゼンテーション (3)	セッション3	
	15:30-16:15	消防隊員の職業病 ブリュッセル消防局（SIAM）プロジェクトマネージャ／エコノミクス専門職員 ヴァレリー・バルビエ
		東京消防庁における震災対策 東京消防庁人事部 佐々木直人 部長
		東京都の危機管理体制 東京都総合防災部防災通信課 宮本康彦 課長
16:15-16:40		休憩
閉会	16:40-17:20	事務局報告
		次回開催都市の発表
		次回開催都市挨拶（マニラ）
		議長総括及び閉会挨拶

別添資料 2**■2018 年 10 月 19 日（金曜日）危機管理関連施設視察・新北市文化視察**

時間	プログラム
8:15 - 9:00	施設視察 : 119 緊急救助指揮センター
10:00 - 11:30	施設視察 : 危機対応指揮学校 (ERCA)
12:00 - 13:30	昼食
15:00 - 20:00	新北市文化視察

エリック・リルアン・チュ新北市長による開会挨拶

危機管理ネットワーク参加都市、オブザーバー、米国災害対策部門を含む世界各都市からの参加者の皆様、並びに、台湾消防局の出席を歓迎いたします。

この度、新北市が開催する危機管理会議を契機に、世界の各都市が新北市で交流できることは喜ばしく、危機管理ネットワークの意義ある成果です。

新北市は、救助・危機管理に直面する中で、台北市と継続的に連携しています。両都市は、4年前に発生したガス爆発、航空機の墜落、大規模火災、地震、台風やその他災害など、大規模な災害を数多く経験しており、そのたびに、互いに支援・協力してきました。国際的な場においても同様に、近隣都市や他の世界の都市で何らかの災害が発生した場合には、我々は率先して協力し、ともに支援いたします。

国際協力は、今後の重要な傾向です。新北市は台湾で最大の都市であり、様々な国際都市と交流し経験を共有することで、今後、都市間のつながりや相互派遣がさらに緊密になることを期待しています。

最後に、この度、危機管理会議に御出席下さった参加者の皆様に改めて御礼申し上げます。危機管理ネットワークのつながりが強まるほど、参加都市間の交流もより緊密なものとなります。今回の会議の成功を祈念いたします。



チェン・ウィンロン 湾内政部台湾消防部署長による祝辞

世界各都市からご参加の皆様を歓迎いたします。ようこそお越しくださいました。台湾で発生する自然災害・人的災害の中で、我々が経験した最も大規模な災害は 1999 年に発生した「921 大地震」及び、2009 年に発生した「モーラコット台風」です。どちらも台湾に非常に大きな影響を与えましたが、これら災害から多くを学ぶことができました。中央政府及び地方政府は、災害に立ち向かうため相互に連携し取り組んでおり、危機・災害管理能力を向上し続けています。

今年は、921 大地震から 19 年目の年であり、我々は大規模な地震災害への備えとするため、大規模な防災訓練を実施しました。訓練において蔡英文 総統は、我々は災害の発生と対処に関し、真剣かつ慎重な姿勢で対応しなければならない、と強調しました。特に、気候変動が進む中においては、大規模災害は重要な課題であり、災害に強い、レジリエントな国をつくるためには、災害復旧システムに関する縦と横の連携を再検討することが求められます。

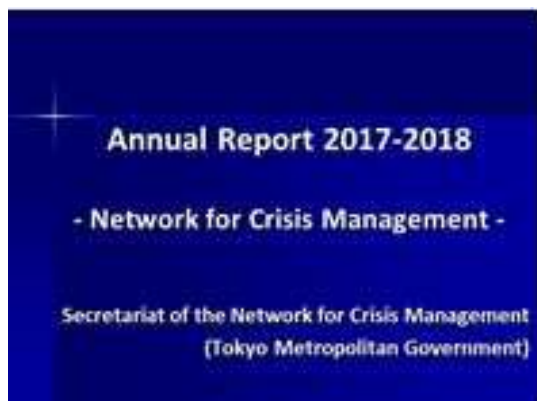
〔危機管理ネットワークの〕参加都市として、台湾における新北市と台北市の防災に関するパフォーマンスは常に高く、合同訓練においても防災あるいは災害復旧・緊急救助に関して各コミュニティに尽力しました。

新北市に対し、この度の会議開催への御礼を申し上げます。ご参加の皆様が多くの知見を得ること、また本年次会議が円滑に開催されることを祈念いたします。

最後に、危機管理及び防災のパートナーである皆様の、御健康と御多幸をお祈り申し上げます。



事務局報告（抜粋）



2. Crisis Management Conference

Asian Crisis Management Conference		Crisis Management Conference	
1 st (2003)	Tokyo	13 th (2015)	Tokyo
2 nd (2004)	Taipei	14 th (2016)	Singapore
3 rd (2005)	Seoul	15 th (2017)	Seoul
4 th (2006)	Singapore	16 th (2018)	New Taipei
5 th (2007)	Jakarta		
6 th (2008)	Kuala Lumpur		
7 th (2009)	Tokyo		
8 th (2010)	Taipei		
9 th (2011)	Seoul		
10 th (2012)	Bangkok		
11 th (2013)	Metro Manila		
12 th (2014)	Kuala Lumpur		



ホアン・デチン新北市消防局長による総括及び閉会挨拶

最初に、フィリピン・マニラが次回の会議開催として選ばれたことをお祝い申し上げます。今回の新北市のおもてなしが、すべての参加者を喜ばせ、忘れられない思い出となったことを願っております。海外からの専門家の皆様におかれては、防災及び危機管理に関する知識と経験を共有くださったことに御礼を申し上げます。それにより、参加者が互いに学び、成長することができます。

新北市は毎年、大規模な防災訓練を実施しております。来年3月には、合同訓練を通した防災能力向上のため、「2019 年新北市 防衛動員・防災訓練」を開催予定です。皆様にも、御参加頂けましたら幸いです。

参加都市の皆様の御支援・御協力のおかげで、新北市は本年の危機管理会議を成功裏に開催することができました。新北市は今後も、各都市の皆様と緊密な関係を維持していく所存です。海外からの御来賓の皆様に、是非また新北市にお越し頂き、再び交流の機会が得られますことを願っております。

皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。